

Esoteric SACD/CD プレーヤー

K01 K03 K05 K07 全機種音質テスト

使用機器

プリアンプ

AIRBOW Tera Cryo Limited
生産完了品



パワーアンプ

Digital Domain B1a
(BTL 接続モノラルとして使用 × 2)
1台 定価 1,000,000 円 (税別)



スピーカー

B&W 802Diamond
定価 1,920,000 円 (税別)



クロックジェネレーター

AIRBOW GPS-10MH
販売価格 215,000 円 (税込)



さらにそれぞれのモデルに ARIBOW の GPS を使った高精度 10MHz クロック・ジェネレーター GPS-10MH を繋いでその効果を確認しました。

試聴ソフト

試聴には、これまでの経験で SACD に比べクロックジェネレーターを使用したときの音質の変化がより顕著に現れる CD ソフトを用いました。



NORA JONES
Come Away With Me / (CD)
Blue Note Records



Your Best Tunes 101 / (CD)
Decca
(チャイコフスキー弦楽セレナード)

32bit DAC を搭載した Esoteric の新製品 K Series K01、K03、K05、K07



Esoteric K01
1,400,000 円 (税別)

VRDS-NEO
VMK-3.5-20S
20mm の極厚フレーム
ジュラルミンターンテーブル
セラミックボールベアリング
(X01 同等メカニズム)

DAC 32bit×8 個
搭載クロック精度 VCXO : ±0.5ppm
アナログ出力回路 ディスクリート
電源トランス 4 個



Esoteric K03
800,000 円 (税別)

VRDS-NEO
VMK-3.5-10
10mm 厚フレーム
ジュラルミンターンテーブル
鋼鉄ボールベアリング
(X03 同等メカニズム)

DAC 32bit×4 個
搭載クロック精度 VCXO : ±0.5ppm
アナログ出力回路 ディスクリート
電源トランス 2 個



Esoteric K05
550,000 円 (税別)

VRDS-NEO
VMK-5
アルミニウム + ポリカーボネイト製ターンテーブル
鋼鉄ボールベアリング
(X05 同等メカニズム)

DAC 32bit×2 個
搭載クロック精度 VCXO : ±3ppm
アナログ出力回路 オペアンプ (MUSE)
電源トランス 1 個



Esoteric K07
390,000 円 (税別)

VOSP
(非 VRDS メカニズム)
(SA10 同等メカニズム)

DAC 32bit×2 個
搭載クロック精度 VCXO : ±3ppm
アナログ出力回路 オペアンプ (MUSE)
電源トランス 1 個

試聴結果

今

回は、電源ケーブルを Esoteric 付属品（純正品）に統一して音質チェックを行いました。先ず最初に K07 の音質を聞いて、それを 10 点としてその他の音質を相対的な点数として評価しましたが、

あくまでも感覚に基づく採点なので正当性には大きな疑問があります。一応の指標として参考になさって下さい。試聴は JAZZ（ノラ・ジョーンズ）とクラシック（Your Best Tunes 101）でクロック・ジェネレーター

の「ない時」と「付けたとき」の二通りを聞き比べました。全てのモデルのアップサンプリングは「4F5」、デジタルフィルターは「FIR1」にセットしていますが、これはそれが最も自然な音質に感じられたためです。

Esoteric K07 ¥390,000（税別）



クロック・ジェネレーターなし

クロック・ジェネレーターあり

JAZZ

高域は伸びやかで明るくにメリハリがあるが、子音が少しキツイ。
中音は暖かく、雰囲気が良い。
低音は切れ味が良く、音が前に出る。
音像は比較的中央によるが、響きが良く音場は前後左右へ立体的に広がる。
パワフルでメリハリのあるエッジの効いた音。
ちょっとドライに感じるが、発音はハッキリ聞き取れ快活に音楽が鳴る。

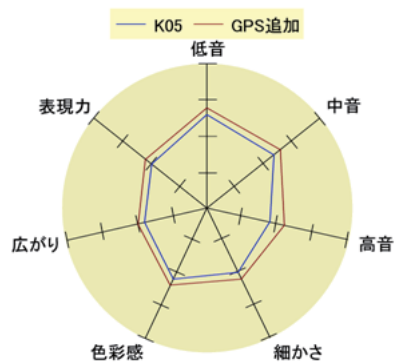
高域がより伸びやかになり、エッジの硬さが緩和される。
中音はパワー感が増して、声に力強さが出る。
低音は太くなり、ベースやドラムに厚みが出る。
音がほぐれて音像が広がるが、密度感も向上する。
ハーモニーの重なる部分の分離が向上し、音が自然に分かれて聞き取れるようになる。ギターの色も良くなって、弦をこする感じのわざとらしさも消えた。

Classics

高域は伸びやかで美しく、弦の音にハリがある。
中音・低音にもしっかりとした厚みがあり、音場が薄っぺらくならない。
弦の重なりも団子にならず適度に分離し、ユニゾンが美しく再現される。広がりもあり、39 万円の CD プレーヤーとは思えないかなりよい音でクラシックが鳴る。

高域が柔らかくなり、響きの美しさが際立つようになる。
ホールの響きが深まり、音の強弱がハッキリする。
バイオリンの切ない響きが実に上手く再現される。
心にしみいるような音だ。

Esoteric K05 ¥550,000（税別）



クロック・ジェネレーターなし

クロック・ジェネレーターあり

JAZZ

K07 に比べて高域はうるさくないが、少し高域方向への伸びやかさが不足する。
中音・低音は、さすがに VRDS らしく厚みと力が出る。
K07 と比べると全体的に音のスピードが遅く（アタックが重い）、音が少し重暗く感じられる。ギターは響きもくすんでいて、弦をこする音も不自然でわざとらしい感じに聞こえる。
空気感の軽さや広がり演奏の自然な雰囲気は、K07 が K05 を上回る。

高域の重さが大きく緩和されて、音が明るく柔らくなる。
ハーモニーやユニゾンの分離感も改善するが、"なし / ある"の違いは K05 よりも K07 の方がより大きく感じられた。
K05 で感じる不自然さがかなり緩和されたが、それでもギターは音が元気が足りず、弦をこする音もまだわざとらしい。
GPS クロック・ジェネレーターを追加した状態だと、K07 が K05 を超える感じがする。

Classics

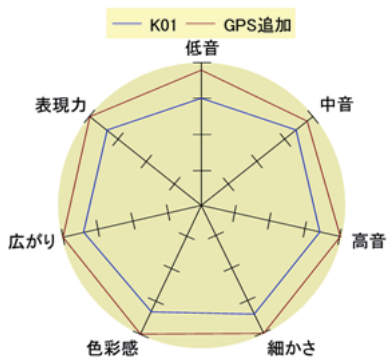
K07 で聴く弦楽は明るくハリがあって、抑揚が大きく元気が良い。K05 で聴く弦楽は、厚みがあって演奏がゆったりと重厚に聞こえる。楽器の数も多く感じられる。快活で若いイメージで演奏を奏でる K07 に比べ、K05 は深みがありより落ち着いた大人の音で音楽を聞かせる。

弦の音の数、楽器の数（演奏者の数）が一気に増える。やや詰まって聞こえたバイオリンの高音が綺麗に伸びて、楽器の響きが美しい。
ホールの響きの豊かさと複雑さが大きく改善され、音場が大きく広がった。
クラシックの再生での GPS クロック・ジェネレーターの効果は JAZZ よりもずっと大きく、クロック・ジェネレーターを追加すると K05 が K07 を確実に上回った。

Esoteric K03
¥ 800,000 (税別)



Esoteric K01
¥ 1,400,000 (税別)



クロック・ジェネレーターなし

クロック・ジェネレーターあり

JAZZ

K07/K05 に比べて明らかにグレードの高さ、音質の違いを感じる。
K05 で感じた「重さ」はまだわずかに残っているが、音が明るくなり声にも張りが出るので、そのネガティブは気にならなくなる。
ギターの音は重い、それは元気がないのではなく、わざとけだるさを出すためにそのように演奏していることが伝わるようになる。弦をこする音もきちんと「音楽の一部」になってきた。
ハーモニーの部分では、ノラ・ジョーンズの声分離して聞き取れるようになる。また、ボーカルの表情の細かさや豊かさも全然違っている。

特定の部分が改善されるのではなく、全ての部分がバランスを保ったまま大きく改善する。
「それぞれの音が綺麗に分離する」クロック・ジェネレーターの最も美味しい効果が発揮されて、ボーカルと伴奏が美しく完全に分離する。
ボーカルは暖かく、血が通ってくる。ギターの音にも弱々しさはまったく感じられず、重なっていた音が分離して複数のギターの音が聞き取れる。
GPS クロック・ジェネレーターの効果は非常に大きく、音をより自然でリアルに変えてくれる。

Classics

弦の数が大きく増し、倍音が重なった厚みが出る。ホールの響きも複雑で上質なものになる。同じホール、同じ奏者、同じ楽器で奏でられている演奏とは思えないほど音質が大きく向上している。
K05/K07 に GPS クロック・ジェネレーターを追加したときの音質を、K03 は単体でそれを超える。
上質で素晴らしい楽器の音が聞けるだけで K03 を選ぶ価値がある。

楽器の音程感が下がり、音像も下に下がる。響きがゆったりとして、厳かな雰囲気が出る。
各パートのメロディー（旋律）が完全に分離して聞こえ、それが見事なハーモニーを形成する。その素晴らしいシンフォニクスと演奏に聞き惚れてしまう。
鏡のような水面に石を投げ入れたときのように、静寂の中に静かに音が広がった。

クロック・ジェネレーターなし

クロック・ジェネレーターあり

JAZZ

K03+GPS クロック・ジェネレーターと比べて良いところと、そうでないところがある。音の厚みや色彩感、表現力は素晴らしいが、音場の透明感や見通しの良さは K03+GPS クロック・ジェネレーターが K01 単体を上回る。
とはいえやはり醸し出される雰囲気、音質の良さは良好で、音の厚みとパワー感には違いが感じられる。
電源トランスを 4 個に分離して、独自に給電している「電源の良さ」が音に出ている感じを受ける安定した音質だ。

GPS クロック・ジェネレーターを接続してから「LOCK」が完了するまでの時間は、K07/K05 がほぼ即時なのに対し K03/K01 はかなり時間がかかる。また、クロックを探している間、小さいが「キューン、ウィーン、ウィーン」という高周波音が出る。クロックのシステムが違うのだろう。
GPS クロック・ジェネレーターを使うと、K03 同様に音場の透明感が大きく向上する。ギターの音がとても上質になって、生演奏を聴いているような生々しくみずみずしい音になる。
全体的に不自然さや誇張感の全くない、実に自然で深い音で音楽を楽しめる。

Classics

K03+GPS クロック・ジェネレーターと比べると音場に濁りがあり、解像度感や音の分離の悪さが気になる。しかし、楽器の音色は色彩が豊富で美しい。
K Series に至るまでの Esoteric のデジタル製品は、全般的に音が硬く生演奏を基準とすると音が随分硬く、演奏も下手に感じられる事があった。しかし、K01 を筆頭とする K Series は音楽的表現力に長け、これまでの Esoteric デジタルプレーヤーに対する偏見を過去のものとするに足る十分な音質を持っている。
K01 の音は自然で説得力があるし、なによりもこれまででは見えなかった「演奏者」の存在がしっかりと感じられるようになった。価格も高いが表現力は、それに伴っている。音ではなく音楽を聴けるなら、それをより強く感じられるはずだ。他の国産 CD プレーヤーと比べても、一頭抜けている音であることは間違いがない。

GPS クロック・ジェネレーターなしでも十分なレベルで音楽を再現する力を持つ K01 だが、GPS クロック・ジェネレーターを追加する事で国産品プレーヤーの音作りに対する不満を完全に過去のものにできる素晴らしい音を出す。
音が細かく音場は大きく広がる。音場の拡大に情報量の増加が負けていないので音の密度感も高く、まるで演奏をその場で聴いているような濃密な雰囲気が醸し出される。
国産のデジタルプレーヤーで、この次元の音を聴けるとは、少し前までは想像すらできなかったほどだ。
Esoteric にはさらに効果なセパレート式デジタルプレーヤーもラインナップされるが、K01+GPS クロック・ジェネレーターがあればそれで十分。あえてこれ以上効果なデジタルプレーヤーを購入する必要はないと感じられる。